

横須賀地区 JRC MTC 生徒会参加活動報告書

(JRC=ジュニア・レッド・クロスの略 青少年赤十字 MTC=メンバーシップ・トレーニング・センターの略)

活動日：8月2日(金)～4日(日)

場 所：湘南学院山中湖セミナーハウス、山中湖周辺

参加校：三浦学苑高校 湘南学院高校 明光高校 海洋科学高校 武山養護学校 岩戸養護学校

参加者：3年：望月彩弥愛 川原優太 2年：石田成宏 1年：川野夏 三浦果穂 野村晃暉 藤本真輝 松本葵

報告者：生徒会1年 川野 夏

補筆 武田 校正 荒川 伊藤



◆ 活動の理由と目的

- ①. 生徒会として地区 JRC 加盟校と交流を深め、その活動を理解し、ボランティア精神を学ぶ
- ②. 三浦学苑生徒会の夏の研修活動の1つとして位置づけ、集団活動の在り方を学ぶ
- ③. 宿泊を通して他校との交流を持ち、関係を築いていき、今後の連携した活動につなげていく
- ④. 養護学校の生徒さんとの交流

◆ 活動の内容

私たち生徒会8名は、JRC(青少年赤十字)活動の一つであるMTC(メンバーシップトレーニングセンター)という2泊3日の宿泊研修に参加しました。この活動は、国際赤十字の精神を学びながら、友情をはぐくむプログラムです。ですから3日間の活動によって参加メンバーは大変仲が良くなります。例年、湘南学院の山中湖セミナーハウスをお借りして行われます。私たちは8月2日の朝に湘南学院に集まり、班に分かれて自己紹介をして活動に入りました。その後、バスに乗り込み、山中湖に移動をしました。

移動中は、車内でのゲームで交流しながら、セミナーハウス着後は、開会式を経て就寝班に分かれ、部屋の確認を行いました。3日間の生活のための役割分担、係分担を行うと、夕食時となり、セミナーハウスの庭でBBQを楽しみました。食事後、初日の研修となり、「ごみ問題」に関して行われました。

私たちは世界のごみ問題についてのレクチャーを受け初日は終了しました。

2日目の前半のメインは、フィールドワークでした。バスに乗り込みフィールドに指定された場所に移動し、班で協力してごみ拾いをしながら、チェックポイントにいる先生から出される問題をクリアしていき、班ごとの得点を競い合いました。最後に楽しみとしてスワンボートに乗せて頂き、セミナーハウスの近くまで戻りました。そして後半のメインイベントであるキャンドルファイヤーを行い、全員でスタンスを楽しみました。

最終3日目は、初日にあった「ごみ問題」を掘り下げた研修を受け、世界のごみの問題について視野を広げ、解決方法を全員で話し合いました。その後、協力してセミナーハウスの大掃除を行い帰りの準備をしました。すべての活動を協力して行うため、各班ごとに友情を深めることができましたと思います。



◆ 感想

今回初めて MTC に参加をし、あまり身近にないできごとを体験することができたと思います。普段の生活では緑や自然にふれあうことも少なく、また BBQ での火おこしも初めての経験でしたし、フィールドワークでのごみ拾い等も、やはり初めてのことでした。私の所属した班は、フィールドワークでの結果が 2 位でした。優勝することはできませんでしたが、協力して団結する力を付ける事が出来たと感じています。「ごみ拾い」も、実際に山中湖畔で行ってみると、いかに多いか実感できました。私たちは自分たちが行為によって、良くも悪くもするのが環境だということを知る事が出来ました。自ら考え行動することをあらためて必要なんだと判りました。

記:生徒会 1 年野村晃暉

私は 3 年間この活動に参加させて頂きました。この活動のポイントは他校の生徒とコミュニケーションがとれるだけでなく、障がいのある同世代の方とも交流が出来る点がとても大きいと思います。

私の日常生活では、正直なところ、あまり関わられる機会がありません。ですから、このような機会があることで、すべての人に開かれた共生社会の在り方にふれることができるのです。私のあとの後輩の皆さんが継続して参加されることを望みます。

記:生徒会 3 年川原優太